

受け身の10分小テスト(基礎・20点)

Class _____ No. _____ Name _____ 得点 _____ / 20

🎯 このテストのゴール: 主語が「する側・される側」かで態を選び、地元の紹介が1文書ける
選んで答える回。じっくり読めば必ず解けます。まちがえた問題は、テストのあとが本番——裏面のふり返しまでで1セットです。

1 場面に合うほうを○でかこもう。(各3点・計12点)

(1) 校外学習のしおり	This bridge(was built / built)about 100 years ago.
(2) 毎朝のお弁当(注意!)	My mother(makes / is made)bento every morning.
(3) 観光地の案内	English(is spoken / speaks)at this hotel.
(4) 文化祭の写真	These photos(was / were)taken by Ken.

2 対話を完成 校外学習の見学先で。()に1語ずつ。(各2点・計6点)

ガイド: This castle(①)built in 1585.

生徒: Wow. Is it famous?

ガイド: Yes, it is known(②)many people. It(③)visited by 500,000 tourists every year.

語群: was / is / to(1回ずつ使う)

3 自分の番 地元の名物・名所を受け身で1文(2点)

書き出しヒント: My town is known for ... / ... is made in ...

1 場面を選ぶ／正しい形

(1) was built (2) makes(作る側が主語＝ふつうの文) (3) is spoken (4) were(主語が複数)

(2)は「お母さんが作る」＝する側が主語→能動態。全部を受け身にしない。

2 対話を完成

① was ② to ③ is

②be known to ~(～に知られている)——byではない前置詞に注意。

3 自分の番(例)

My town is known for its apples. / Our school was built in 1980.

内容は自由。文法が正しく、条件を満たしていれば正解にする。

☆採点と使い方 配点=1:各3点/2:各2点/3:2点(計20点)。16点以上=合格ライン、12点未満=定着ドリルの「まちがい診療所」からやり直すのがおすすめ。同じ場面・同じ測る力で基礎・標準・発展の3枚があるので、再テストや個別対応は別の難易度で行えます。